

新たな挑戦者たちが求めるさらなる好機

Ryan O. Issakainen, CFA | Senior Vice President | ETF Strategist

Andrew Hull, CFA | Vice President | ETF Strategist

Roberto Fatta | Associate ETF Strategist

過去数年間、米国株式市場は比較的少数の超大型株に支配されており、広範な市場ベンチマークにおけるそれらの集中度はかつてない水準に達しています。このような背景から、歴史を教訓とするならば、次の10年のトップパフォーマーは、新たな参入者が既存の大手株を淘汰することで、過去10年とは大きく異なる可能性があることを念頭に置くことが重要だと考えています。マグニフィセント・セブン¹自体がこの点を示唆しています。2014年末時点でS&P 500[®]指数の上位10銘柄に入っていたのは、これら7銘柄のうちわずか3銘柄（アップル、マイクロソフト、アルファベット）のみでした。したがって、投資家は、多くの市場ベンチマークに含まれていない可能性のある「見過ごされている成長機会」を検討すべきであると私たちは考えています。こうした銘柄へのエクスポージャーを獲得するための、効率的でスケラブルな戦略の一つが、以下に紹介するファーストトラスト 米国株式 オポチュニティーズETF (FPX) です。

新規上場の難題

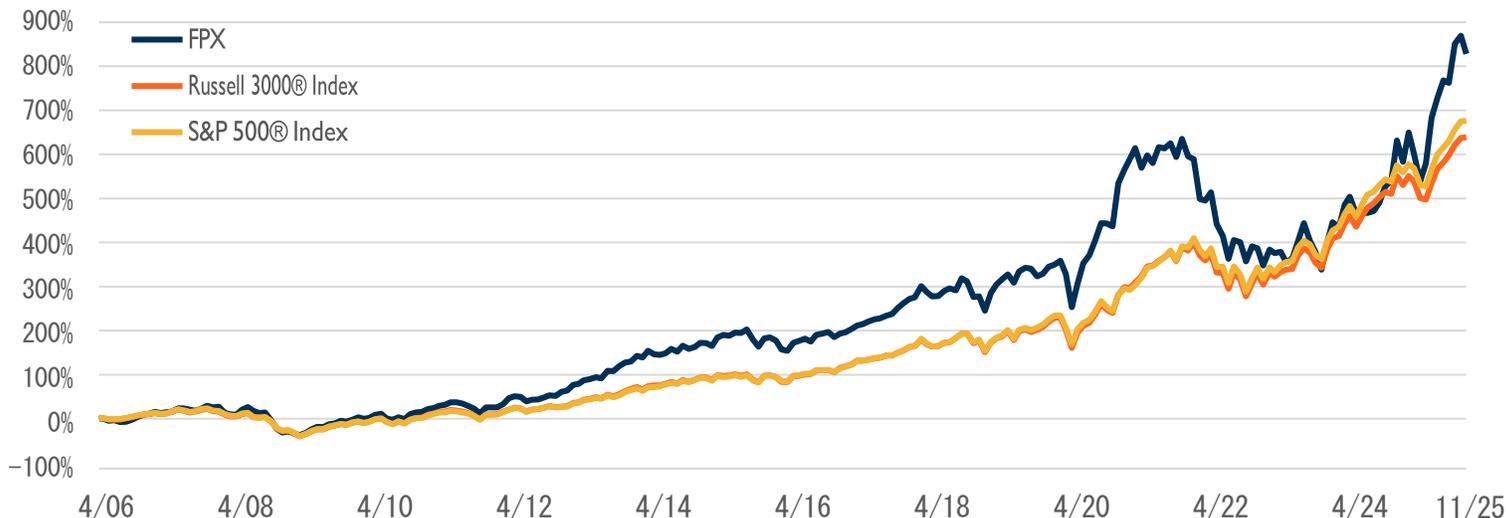
新規株式公開 (IPO) やスピノフを通じて最近公開された企業は、投資家に独自の潜在的な成長機会を提供します。これらの新規上場銘柄は、広範な市場ベンチマークからは除外されていることが多く、そうした指標では、新規銘柄が検討対象となる前に、最低限の取引実績などの「シーズニング要件 (成熟期間)」が課される場合があります。しかし、新規上場銘柄の重要な特徴の一つは、上場後のリターンに顕著な「プラスの歪み (ポジティブ・スキュー)」が見られることです。言い換えれば、比較的少数の並外れた「勝者」による突出したパフォーマンスにより、平均値 (平均) が中央値を大幅に上回っているのです。これが重要である理由は、取引初日を除くと、世界中の新規上場銘柄の56%がその後の12ヶ月間でマイナスのリターンを記録し、中央値のリターンは-7.69%にとどまっているからです。24ヶ月間では、中央値はさらに悪化し、-18.59%となりました。対照的に、同じ母集団の平均リターンは、12ヶ月で+13.43%、24ヶ月で+20.01%でした (2004年12月31日~2025年9月30日)²。

私たちの見解では、このダイナミクスは、新規上場銘柄から利益を得ようとする投資家にとって極めて重要な検討事項を浮き彫りにしています。それは、若い企業にはより大きな不確実性が伴うため、分散投資が不可欠であるということです。歴史的に見て、「勝者」の潜在的な上昇益を享受するための実質的な「コスト」は、避けられない「敗者」へのエクスポージャーも受け入れることでした。後知恵なしにその両者を予測することは困難です。

拡張性のある投資ソリューション

2006年に設定されたファーストトラスト 米国株式 オポチュニティーズETF (FPX) は、IPOX[®]-100 U.S. インデックスに基づいており、米国で取引されている最大かつ流動性の高いIPOおよびスピノフ銘柄100件への体系的なエクスポージャーを提供することを目指しています。このルールに基づいたアプローチにより、当ファンドは歴史的に、特定の銘柄がS&P 500[®]指数などの広範なベンチマークに採用される前に、その大きな上昇益を取り込むことを可能にしました。

FPXの累積トータルリターン (設定来)



データは/2006/4/12~/2025/11/28

¹マグニフィセント・セブンは、アルファベット、アマゾン、アップル、メタ・プラットフォームズ、マイクロソフト、エヌビディア、テスラを含みます。

²IPOX Schuster : 2004年12月31日から2025年9月30日までの、世界の新規上場銘柄の等金額加重サンプルにおける上場後のパフォーマンス。対象となるユニバースには、新規公開株 (IPO)、スピノフ、およびそれぞれの合併・買収 (M&A) が含まれます。

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は www.ftportfolios.jp から確認できます。

特定の有価証券への言及は、それらの売買を推奨するものではなく、また利益が得られることを示唆するものでもありません。

新たな挑戦者たちが求めるさらなる好機

Ryan O. Issakainen, CFA | Senior Vice President | ETF Strategist

Andrew Hull, CFA | Vice President | ETF Strategist

Roberto Fatta | Associate ETF Strategist

FPXのパフォーマンスの主な原動力は、不振な銘柄による足枷を補って余りある、選りすぐりの「勝者」からの貢献です。歴史的な代表例には以下が含まれます：

テスラ | 2010年6月29日にIPO。10年以上にわたりS&P 500®指数には採用されませんでした。2010年7月にFPXに組み入れられてから2014年12月に除外されるまで、テスラは1,179.3%の累積総リターンをもたらしました。

メタ・プラットフォームズ（旧フェイスブック） | 2012年5月18日にIPO。2013年12月にS&P 500®指数に採用。2012年9月にFPXに組み入れられてからS&P 500®指数に採用されるまでの間に、同株は141.1%のリターンを記録しました。その後2017年3月まで主要な保有銘柄として残り、その期間中も強力な貢献を続けました（累積総リターン512.4%）。

S&P 500®指数への採用前に有意義なプラスの貢献をしたより最近の例には、以下が含まれます：

パランティア | 2020年9月30日に直接上場。2024年9月にS&P 500®指数に採用。2020年11月にFPXに組み入れられてからS&P 500®指数に採用されるまで、パランティアの累積総リターンは155.1%でした。

アップラビン | 2021年4月15日にIPO。2025年9月にS&P 500®指数に採用。2021年6月にFPXに組み入れられてからS&P 500®指数に採用されるまで、アップラビンの累積総リターンは636.3%でした。

もちろん、これらの利益は、広範な指数には含まれていないパフォーマンスの低い銘柄によって一部相殺されています。例えば：

リビアン | 2021年11月10日にIPO。S&P 500®指数には含まれていませんが、2021年12月にFPXに採用。FPX採用から2025年11月30日までに、リビアンの累積総リターンは84.5%下落しました。

コインベース | 2021年4月14日に直接上場。その直後にFPXに採用。FPX採用から2025年11月30日までに、コインベースの累積総リターンは16.9%下落しました。

セイルポイント | 2025年2月13日にIPO。S&P 500®指数には含まれていませんが、2025年5月にFPXに採用。FPX採用から2025年11月30日までに、セイルポイントの累積総リターンは7.1%下落しました。

ロア・ホールディングス | 2024年4月25日にIPO。S&P 500®指数には含まれていませんが、2024年12月にFPXに採用。FPX採用から2025年11月30日までに、ロアの累積総リターンは7.4%下落しました。

新規上場銘柄は、広範な市場ベンチマークでは過小評価されがちな成長機会を探るための独自のユニバースを象徴しています。上述の通り、このグループのリターン特性は顕著なプラスの歪み（ポジティブ・スキュー）によって特徴付けられます。歴史的に、比較的少数の傑出した勝者が、他の銘柄の低パフォーマンスを十分に補ってきました。私たちの見解では、このダイナミクスは、選択的な銘柄選定よりも、分散された体系的なアプローチを強力に支持するものです。個別の結果に伴う固有のリスクを軽減しつつ、これら新興勢力のポテンシャルを取り込もうとする投資家にとって、FPXは説得力のあるスケーラブルなソリューションを提供すると私たちは信じています。

³テスラが最初にS&P 500®指数に採用されたのは2020年12月21日です。

⁴フェイスブック（現メタ）は、2013年12月20日の取引終了後にS&P 500®指数に採用されました。

⁵パランティア・テクノロジーズは、2024年9月23日の取引開始前にS&P 500®指数に採用されました。

⁶アップラビンは、2025年9月22日の取引開始前にS&P 500®指数に採用されました。

特定の有価証券への言及は、それらの売買を推奨するものではなく、また利益が得られることを示唆するものでもありません。

過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

新たな挑戦者たちが求めるさらなる好機

Ryan O. Issakainen, CFA | Senior Vice President | ETF Strategist

Andrew Hull, CFA | Vice President | ETF Strategist

Roberto Fatta | Associate ETF Strategist

パフォーマンス概要 (%) 2025年9月30日時点

ファンド・パフォーマンス*	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
基準価額 (NAV)	14.97	39.32	51.20	27.63	11.88	13.68	12.27
市場価格	15.12	39.36	51.24	27.65	11.90	13.71	12.27
指数パフォーマンス**							
IPOX® 100 U. S. Index	14.87	39.33	51.38	28.13	12.36	14.20	12.87
Russell 3000® Index	8.18	14.40	17.41	24.12	15.74	14.71	10.69
S&P 500® Index	8.12	14.83	17.60	24.94	16.47	15.30	10.96

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は www.ftportfolios.jp から確認できます。

ファンド設定日：2006年4月12日。総経費率：0.61%。純経費率：0.61%。契約上の経費率は少なくとも2026年4月30日まで年間0.60%とします。ファンドの純経費は、取得ファンドの手数料やその他の算出対象外の費用により、経費上限を超える場合があります。手数料及び経費の詳細についてはファンドの最新の目録書をご参照ください。

*基準価額 (NAV) リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額 (NAV) に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額 (NAV) リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

**記載されている各指数のパフォーマンス情報は例示目的のみであり、実際のファンドのパフォーマンスを示すものではありません。指数には管理報酬や売買手数料は発生せず、示されているパフォーマンスからそのような手数料や費用が差し引かれることもありません。指数は運用管理されておらず、投資家が指数に直接投資することはできません。

モーニングスター総合評価



2025年11月30日時点で中型成長株のカテゴリに属する470ファンドの中で、当ファンドはリスク調整後リターンに基づき、5つ星/470ファンド(3年)、3つ星/442ファンド(5年)、4つ星/367ファンド(10年)と評価されました。

「モーニングスター・レーティング™・フォー・ファンド（星評価）は、運用商品（投資信託、変額年金および変額生命保険のサブ口座、上場投資信託、クローズドエンド型ファンド、セパレート口座を含む）で、3年以上の履歴を持つファンドに対して算出されます。上場投資信託 (ETF) とオープンエンド型ミューチュアルファンドは、比較目的で単一の集団と見なされます。これは、管理商品の月間超過パフォーマンスの変動を考慮しモーニングスターのリスク調整後、下方変動に重点を置き、一貫したパフォーマンスに報いる指標に基づいて計算されます。モーニングスター・レーティングには、販売負荷の調整は含まれていません。各商品カテゴリーの上位10%の商品には5つ星、次の22.5%には4つ星、次の35%には3つ星、次の22.5%には2つ星、下位10%には1つ星が与えられます。管理対象製品のモーニングスター総合評価は、3年、5年、10年（該当する場合）のモーニングスター評価指標に関連付けられたパフォーマンス数値の加重平均から導き出されます。加重は、36-59ヶ月の合計リターンは3年評価で100%、60-119ヶ月の合計リターンは5年評価で60%、3年評価で40%、120か月以上のトータルリターンは10年評価で50%、5年評価で30%、3年評価で20%です。10年間の総合星評価式は、10年間の評価が重視されているように見えますが、実際には、3つの評価期間全てに含まれるため、直近3年間の評価が最も大きな影響を与えています。©2024年 モーニングスター株式会社全著作権所有。ここに含まれるモーニングスター評価の記載情報は：(1) モーニングスターに帰属します。(2) 無断複製および配布を禁止します。(3) 正確性、完全性、適時性の保証はありません。モーニングスターおよびそのコンテンツプロバイダーは、本情報の使用から生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去のパフォーマンスは、将来の結果を保証するものではありません。

新たな挑戦者たちが求めるさらなる好機

Ryan O. Issakainen, CFA | Senior Vice President | ETF Strategist

Andrew Hull, CFA | Vice President | ETF Strategist

Roberto Fatta | Associate ETF Strategist

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書入手するには、First Trust Japan (www.ftportfolios.jp) にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、特定の国、企業、業界、または市場のセクターのみで発生する場合があります。

指数連動ファンドは、指数が集中している範囲で、業界または業界のグループに集中します。単一の資産クラスへのエクスポージャーが大きいファンド、または同じ国、州、地域、業界、セクター内の発行体の証券は、広く分散されたファンドよりも、経済、ビジネス、または政治の不利な発展によってその価値がより影響を受ける可能性があります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模や変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

指数プロバイダーまたはその代理人が指数を正確にコンパイルまたは維持する保証はありません。指数プロバイダーのエラーに伴う損失やコストは、通常、ファンドとその株主が負担します。

工業および耐久消費財メーカーは、一般的な経済状況、激しい競争、統合、国内外の政治、過剰生産能力、消費者の需要と支出傾向など、特定のリスクにさらされています。また、全体的な資本支出水準、景気サイクル、技術の陳腐化、近代化の遅れ、労使関係、政府規制などによっても大きな影響を受ける可能性があります。

情報技術企業は、急速に変化する技術、短い製品ライフサイクル、激しい競争、厳しい価格設定と利益率の低下、特許の損失、著作権や商標の保護、周期的な市場パターン、進化する業界基準と規制、頻繁な新製品の導入など、特定のリスクにさらされています。

最近新規株式公開 (IPO) を行った企業の株式は、価格変動や投機的取引の対象になることが多くあります。これらの株式は、ファンドに組み入れられる前の新規株式公開に関連して、平均以上の価格上昇を示した可能性があります。ファンドに含まれる株式の価格は上昇し続けるとは限らず、そのパフォーマンスが過去に示されたパフォーマンスを再現しない可能性があります。

大規模な資本企業は、市場全体よりも成長速度が遅い可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメイカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

中堅企業は、より大規模で確立された企業よりも価格変動が大きくなる可能性があります。

指数連動ファンドのリターンは、運用費用、指数の変化を反映するための証券の売買コスト、ファンドのポートフォリオ保有が指数を正確に再現していない可能性があるという事実など、さまざまな理由で指数のリターンと一致しない場合があります。

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する場合があります。その結果、ファンドは、これらの発行体の1社もしくは複数社に影響を与える単一の経済的または規制上の不利な事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが増加し、特定の発行体に高く集中する可能性があります。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

指数に含まれる、または指数を代表する証券に投資するファンドは、投資メリットに関係なくこれらの証券を保有し、通常ファンドが下落相場で守りのポジションを取りません。

回転率の高いポートフォリオは取引コストの水準が高くなり、株主の税金負担が大きくなる可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額 (NAV) の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

中小資本企業は、市場や経済の不利な展開に対してより脆弱で流動性が低い可能性があり、より大規模で確立された企業よりも価格変動が大きくなる可能性があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

First Trust Advisors L.P. は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P. は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P. の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供したりものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

IPOX®およびIPOX® 100 U.S. Indexは、IPOX® Schuster LLC (以下「IPOX」) の国際商標およびサービスマークであり、ファースト・トラストによって使用が許可されています。当ファンドはIPOXによって後援、承認、販売、または宣伝されておらず、IPOXはそのようなファンドの取引の妥当性についていかなる表明も行いません。IPOX® は IPOX Schuster LLC の国際商標です。新規株式公開指数 (IPOX) および IPOX デリバティブの特許番号は US 7,698,197 です。

定義

ラッセル3000®指数は、米国を拠点とし、取引されている最大かつ最も流動性の高い3000銘柄で構成されています。S&P 500®指数は、米国株式市場の大型株のパフォーマンスを測定するために使用される500社から構成される非管理指数です。

特定の有価証券への言及は、それらの売買を推奨するものではなく、また利益が得られることを示唆するものでもありません。

ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではありません。記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026011903

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp